

# 5. トラブルを予防する

飼い猫に関する苦情が、保健所やセンターには多く寄せられます。ご近所とのトラブルを防ぐためにも、猫は室内で飼うように指導しましょう。特に注意したいポイントをあげてみましょう。

## ■ 敷地侵入・敷地への排泄

### いたずら（庭・畑・ゴミ集積所）・捕食行動（飼い鳥・鯉・野生動物）

非常に多い苦情ですが、これらの問題は、猫を室内だけで飼育するようになれば、ほとんど起きることはありません。譲渡の際にも、新しい飼い主によく伝えておきましょう。

## ■ 匂い

猫を飼っている家からは、独特のアンモニア臭が漂うことがありますが、これはトイレを常に清潔に保つことで防げます。多頭飼いの場合は、トイレの数を増やし、トイレ以外の場所に排泄をさせないようにしましょう。特に臭いのは、雄猫がマーキングとしてする尿の匂いです。これは去勢手術をすることでほとんど防ぐことができます。

## ■ 抜け毛

猫の毛は犬のものより細くやわらかで、飛び散りやすいので、注意が必要です。特に集合住宅の場合は、玄関ドアからふわっと毛が舞い散ることがありますが、猫アレルギーの方はわずかな毛でも症状が出る場合がありますので注意しましょう。予防するには、こまめに家を掃除すること。猫にブラッシングの習慣をつけること。また、バスルームでブラッシングをする場合は、排水溝にネットをかけて配管がつまらないように注意しましょう。

## ■ 鳴き声

発情期の猫の鳴き声についての苦情も多いですが、これを予防するためには、不妊去勢手術が最も効果的な方法です。

## ■ 多頭飼育に関する苦情

自治体には、「近所の家でたくさんの猫が飼われていて糞尿などの被害がある」という苦情や相談も寄せられますが、問題となる猫の飼い主が、状況の聞き取りや指導が非常に難しい場合も多いようです。こうした場合、自治会や、地域の情報に詳しい方、また民生委員、保健士など、人のケアを行う専門家と連携して対応に当たる方法もあります。

## 事例

### 東京都港区

## 民生委員とともに高齢者の多頭飼育に対応

高齢者の父と息子の二人暮らしの家庭に、地区の民生委員が「高齢者の実態調査」で訪問したところ、20匹以上の猫にえさやりをしながらも不妊去勢手術は全く行っていないことが判明しました。父子は問題視する様子もなかったが、近隣から糞尿の苦情が行政に寄せられたこともあり、地域猫活動の経験があった民生委員が不妊去勢手術の必要性を父子に説明し、港区の助成金を受けることを提案しました。行政が手続きを進め、民生委員やボランティアの尽力もあって20匹の不妊去勢手術を行いました。高齢者の家を定期的に訪問する民生委員だからこそ、状況把握ができた事例です。

## 外飼いの猫の苦情～他人の敷地で排泄をする～

近所の飼い猫が自分の敷地に侵入し庭におしっこをして困る、という近所からの苦情も多いものです。この場合、猫の飼い主に室内飼育に切り替えてもらうことが一番の解決策ですが、これまで室内外自由だった猫を室内飼いに切り替えることは容易ではありません。そのときは、マーキング・スプレー行動を予防するために飼い猫に不妊去勢手術を行ってもらうことはもちろん、＜飼い主の庭や敷地内に、猫が排泄しやすいトイレエリアを作る＞という方法をアドバイスすることもできます。

**■ Why** 猫は自分の好きな足場を選んで排泄します。多くの猫が好むのが、サラサラの砂。このため公園の砂場で排泄する猫がいて問題になります。敷地内に侵入され排泄場所にされている家の庭には、そのような「猫が好きそうな環境」があるのかもしれませんが。

**■ How** 飼い主の自宅の庭や敷地内に、猫が好む足場を設置してもらいます。

- ・さらさらの自然の砂を敷いた場所を複数作る。  
(猫がどこを好むか分からないので。)
- ・室内ではトイレ箱で排泄している場合、庭にも同じトイレ箱を置いてみる。

そのほか、飼いネコが好むトイレの環境を、自宅敷地内に作れば、わざわざ近所の家に侵入することが少なくなる場合があります。また近所に、飼い主の努力や姿勢を伝えることはできます。

**■ Then** こうしたトイレを自宅の庭に作ると、自分の家の猫だけではなく、野良猫やよそで飼われている猫もやってきて排泄をするようになるでしょう。その結果「敷地内にほかの猫が来て排泄をされる」という経験を飼い主自身もすることになり、苦情を言ってきた人の気持ちがわかるようになり、猫の室内飼育を真剣に考えるきっかけになる場合もあります。

## 問題行動は「管理」で解決！

飼い主さんからの飼育に関する悩み相談には、「まず猫のニーズを満たすこと」そして「問題が起きないように動物の生活を管理すること」を伝えましょう。動物の生活環境を変える、飼い主の行動を変える、人間と動物の生活の妥協点を見出す・・・そうして管理することで、困っていた問題を起こさず済みます。以下に、その具体策を示しました。発想の転換をすれば、実はとてもシンプルな解決策です。

\*家中のモノをいたずらする  
⇒片づけられるものは片づけ、大切なものは引き出しにしまう。食べ物は冷蔵庫か食糧庫にしまう。戸を開ける猫なら鍵をつける。(食べ物は電子レンジにしまうのもお薦め)

\*玄関の出入り口からスルッと脱走する  
⇒玄関に通じる廊下のドアを閉めておく。  
玄関を開けるときにはカバンや足で猫が通りぬけないよう注意する。

\*柱に爪とぎをする  
⇒適切な爪とぎを与え、爪とぎ防止シート(ホームセンターで売っている)を壁や柱に貼る

\*窓や網戸を開けて外に出てしまう  
⇒面倒でもその都度閉めてロックをかける(網戸にもロック)

\*羽毛布団に排尿する  
⇒寝室に入れない

\*夜中に運動会をしてうるさい  
⇒なるべく昼間しっかり遊び、夜人が寝る前にも遊んでやりエネルギーの発散をさせる。一人遊び用のオモチャを与える。  
(ゴムで天井からオモチャをぶらさげるなど)

